

件名	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋における温風送風機内からの発煙について
通報日	平成19年3月22日
概要	<p>当所5号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は第12回定期検査中ですが、午前10時21分頃、タービン建屋地下2階にある電気油圧式制御装置*室において火災報知器が発報いたしました。当該室では、協力企業の作業員が油タンクを外側から暖めるための温風送風機（直径：約60cm）に接続している電気ケーブルの電流測定作業を行っておりましたが、温風送風機内からの発煙を確認したことから、速やかに消防署へ通報するとともに初期消火を実施いたしました。</p> <p>その後、消防署の現場確認により、午前11時13分に鎮火が確認されました。今後、原因を調査いたします。</p> <p>なお、作業員にケガはなく、これによる外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*：電気油圧式制御装置</p> <p>原子炉で発生した蒸気（主蒸気）圧力とタービン回転数を一定に保つため、電気信号により高圧の油を使って主タービンに送る蒸気などを制御する装置。</p> <p>（平成19年3月22日 プレス発表内容）</p> <p><a href="http://www.tepco.co.jp/cc/press/07032201-j.html">http://www.tepco.co.jp/cc/press/07032201-j.html</a></p>